



「たくましく」「しなやかに」生きる

校長 T.I.

「2030年問題」という言葉が聞かれるようになって4、5年くらい経つでしょうか。まだまだ先のことに感じる言葉でしたが、あと8年後が2030年。小学5年生が20歳、小学1年生が16歳になる年、と考えるとさほど遠くない将来のことと感じられます。

2030年には、日本の人口は「3人に1人が65歳以上」という超高齢化社会に突入します。そのことで、年金や社会保障の給付、人手不足など、さまざまな問題が生じると予測されていることを「2030年問題」と呼んでいます。学校教育では「予測困難な変化を前向きに受け止め、私たちの社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を、構想し実現したりしていくことができる。」と受け止め、学習指導要領の中で児童生徒に知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことを目指し、以下のように三つの柱を示しています。



- (1) **知識及び技能**が習得されるようにすること。
- (2) **思考力、判断力、表現力**等を育成すること。
- (3) **学びに向かう力、人間性**等を涵養すること。

さて、毎年1月には小学5年生と中学1、2年生を対象に鹿児島学習定着度調査が行われます。この調査は鹿児島県内の全ての児童生徒を対象に実施されるものですが、

① 主として「**基礎・基本**」に関する問題 ② 主として「**思考・表現**」に関する問題
から成っています。「思考・表現」の問題では、

- 複数の情報を関連付け、それを基に自分の考えを論理的に書く問題
- 社会的事象について、多面的・多角的に考察して資料を関連付けたり、比較したりして読み取ったりする問題
- 日常生活や社会の事象の中で、知識・技能等を活用して解決する問題

などが出題されており、自分で考え、判断する力が求められていることが分かります。思考するためには「言葉」が必要です。いろいろな本を読んで、思考するための言葉(語彙)をたくさん身に付けてほしいと思います。

新型コロナウイルスの感染状況は収まることなく2年が過ぎようとしています。これほど長引き、世界中に深刻な影響を与えるとは予想だにしていませんでした。まさに予測困難な社会を見せられているような気がしています。しかし、コロナ後には不要だったものが淘汰され、よりよい社会の仕組みが生まれるかもしれません。子供たちには、社会の変化を乗り越えるための自立心とたくましさ、しなやかさを持ち、しっかり考え判断できる人に育ててほしいと思っています。



学校給食週間～お魚解体ショー～

1月24日から28日は、学校給食週間でした。納官小では、いつも給食を作っていただいている給食センターにお礼のメッセージを届けたり、食や健康にちなんだかるた大会を実施したりしました。

また、1月24日には、学校給食週間に係るイベントが実施され、大迫力の魚の捌き方実演や生産者の方のお話を聞かせていただきました。この日は、給食献立にタルメ(メダイ)を使ったメニューがあり、それに合わせて、魚が自分たちの口に入るまでの行程を見せていただきました。子供たちも、職員も捌きたての新鮮なお刺身を試食させていただき大喜びでした。

種子島には素晴らしい水産資源がたくさんあるということが分かり、おいしく楽しく食について学ぶことができました。ここ十年ほどで肉食と魚食の割合が逆転し、魚の消費量が減っているそうです。お肉ももちろん大好きですが、こんなおいしい魚を食べないなんてもったいない！そう感じる時間になりました。



4月が楽しみです！～新一年生入学説明会～

2月2日に、令和4年度新入学生の入学説明会・学校体験を実施しました。入学予定のK.K.さんとK.H.さんが来校し、1,2年生と交流を行いました。校内では、年下の1,2年生ですが、新入生を前にお兄さん・お姉さんの顔になっていました。学校を案内したり一緒に遊んだり楽しい時間を過ごすことができたようで、4月の入学が楽しみです。

新たに納官キッズに加わる予定の二人をよろしく申し上げます。



2・3月の行事予定

- 2/2(水) 新1年生入学説明会
- 11(金) 建国記念の日
- 12(土) 土曜授業・なわとび大会
- 22(火) 外部評価委員会
- 23(水) 天皇誕生日
- 25(金) スクールカウンセラー来校日

行事は中止や変更になる場合があります

- 3/4(金) お別れ遠足
- 7(月) 授業参観・PTA 総会
- 12(土) 土曜授業
- 14(月) 卒業式予行
- 21(月) 春分の日
- 24(木) 令和3年度卒業式
- 25(金) 修了式・離任式



